【アセスメント＆外出支援計画シート】利用者氏名：Ｓ・Ｔさん　今回の目標（ステップ）：安全に目的に移動する

	アセスメント１		アセスメント２		プランニング（午後の演習に使用します）		
場面・行動	根拠となる行動 この行動から	本人の状況 このような状況と判断	関連する障害特性 この特性から	本人の頭の中（セリフ） こんなことが言いたいのでは？	本人の見せる困難さ	★活用できる強み	関連する障害特性による具体的な支援の計画
①予定を理解する	・ヘルパーの指示（いきましょう）に従えない（次の行動に移せない）	・状況を理解できていない	1．相手からの情報・メッ…の特性 5．時間整理統合の困難さ	・何を言ってるんだ？ ・さっぱりわからないなぁ	・いつもと違う状況が苦手 ・ことばの理解が苦手	・絵や写真の理解が可能 ・具体的なものを見ると行動に起こすことができる	・外出の日課を写真カードにして、ラミネートをしておく（1．本人が理解できる形態はことばより絵や写真なので／3．紙だけだと破いてしまうので） ・次の活動のカードを一枚ずつ手渡して伝える。他のカードはヘルパーが持って移動する。（1．あまりたくさんの情報をいっぺんに伝えないために）
	・反響言語で答えている	・ヘルパーの言葉がわからない	2．相手に気持ちを伝える特性	・ポテト？			
	・激しく揺れている	・不安が強い	7．変化の対応の困難さ	・誰なんだこの人は？			
	・カバンを見てすぐ立ち上がった	・カバンを見て出かけるとわかった	1．相手からの情報・メッセージをキャッチする特性（★視覚に強い）	・なんだ、そういうこと？ ・出かけるんだね			
②バーガーショップへ移動する	・立ち止まって揺れている	・目的がわからない／忘れた	1．相手からの情報5．時間整理統合の困難さ9．記憶の維持の困難	・あれ？何だっけ？ ・どうすればいいんだっけ？	・抽象的なことばの理解が苦手 ・記憶の維持が悪い ・信号の理解ができない ・安全の確認ができない	・他人と出掛けることは理解できている ・目的の場所が見え、加害できると落ち着き、歩いての移動が可能になる	・パワードームの写真カードを持ってもらって移動する（9．記憶の維持を助けるために） ・パワードームに着いたら、ハンバーガーショップのカードを渡し、移動する。（5．活動の行程を視覚的に提示する。1．5．次の活動を視覚的に伝えるため。）
	・ヘルパーに「ゆっくり」と言われるがすぐに走る	・言葉が伝わっていない	1．相手からの情報・メッセージをキャッチする特性	・「ゆっくり」ってなんだ？ ・止められたけど・・・？			
	・カメラマンの動きにつられて走る	・目の前のことに影響されている	4．転導性・衝動性・強い注目、	・走ればいいんだね			
	・安全を確認する様子もなく走っている	・目の前の道しか見えていない	4．転導性・衝動性・強い注目、 6．空間整理統合の困難さ	・道だ！進もう			
③食べるものを購入する	・反響言語が多く会話が成立しない	・選べない／質問がわからない	1．相手からの情報・メッセージ 2．相手に気持ちを伝える特性	・ハンバーガーどっちがいいですかってどういう意味？	・選ぶという行為が理解できない ・指示が具体的でないと理解できない ・待ち時間が苦手 ・ことばだけでは繰り返すだけ ・紙を見ると破くことがある ・不安が高くなるとひざをついたり、ゴミ拾いに熱中する	・やれることが具体的に示されればできることもある ・お札は破かなかった ・ヘルパーからの指示があるまでカウンターの付近で待つことができる	・食べる予定のものはあらかじめ決めておき、カウンターでヘルパーが伝える。（1．4．本人に合った情報量を、刺激の少ない場所で選んでおく。／今回のステップは安全に移動が目的なので、できないところはヘルパーが行う。） ・お金はあらかじめヘルパーが出しておき（今回のステップ）、適切な金額をＳＴさんに渡し払ってもらう（1．指示が具体的だと理解できる） ・レシートは速やかに財布に片付ける（刺激統制）
	・レシートを破いてしまう	・購入の手順がわからない（★指示が具体的だとできる）	1．相手からの情報・メッセージ 5．時間整理統合の困難さ	・お金？出すの？紙だ！破こう			
	・ジュースだけもって行こうとする	・好きな（見えた）ものだけに集中している（★わかればできる）	4．転導性・衝動性・強い注目、注意	・あ、ジュースだ！			
	・片ひざをついたりゴミを気にしたりしている	・見通しが持てなくて不安	2．相手に気持ち…3．感覚の… 4．転導性・衝動性・強い注目、	・どれを見たらいいんだろう ・何をしたらいいんだろう			
④食べる	・早食い、一気飲みをしている ヘルパーに止められ加速した	・あわてている	1．相手からの情報・メッセージをキャッチする特性	・ジュースまだ入っているよ ・とらないで！	・ゆっくり食べたり、飲んだりすることが苦手 ・落ち着かない状況だと細かなゴミがきになって仕方がなく、ゴミ拾いをしてしまう ・手洗いの意味は理解しにくい ・話ことばの理解は難しい	・食べることは好き ・座って一連の流れをすることができる。または、ヘルパーに「片づけましょう」と言われるまで座っていられる	・席まで移動したら、座る前に手洗いのカードを提示し、手を洗いに行く。（1．5．言葉よりも理解しやすい形態で次の活動を視覚的に提示する） ・ヘルパーは食べ物に無用な手を出さず静かに見守る（1．見て理解するための誤解を避ける） ・卓上のゴミなどの処理は本人の意向に従い、気にならないような配慮を心がける（4．刺激統制） ・座席はなるべく静かで落ち着けるような場所を選び、予約などをしておく。（3．4．刺激統制）
	・ヘルパーが「食べる前に手を洗いましょう」と言っても動かない。手を洗ってまた床をさわる	・ヘルパーの言葉がわからない ・清潔にしてから食べる手順を理解していない	1．相手からの情報・メッセージをキャッチする特性 5．時間整理統合の困難さ	・食べるの？洗うの？何なの？			
	・ゴミばかり注目している	・落ち着かない	2．相手に気持ち…3．感覚の… 4．転導性・衝動性…7．変化の対応	・気になるなー ・なんだか落ち着かないな			
	・ヘルパーが指示するまで口をふきながら待っている	・合図がないと終われない（★合図があるまで座っていられる）	5．時間整理統合の困難さ	・次は何をすればいいのかな？			
⑤片付ける	・ゴミ箱にゴミを入れようとしている（自分で捨てようとしている）	★捨てるという目的を理解している	7．変化の対応（★同じは得意） 10．長期記憶（★継続は得意）	・最後は捨てるんだね	・ゴミの分別が理解できない	・やることが具体的に示されればできることもある ・捨てるということはわかっている	・まず、トレイを置いてから片づけることを促す（6．物の置く場所等具体的な指示をする。道具を整理して伝える） ・本人が持ったものを見て適切な場所を指差しで提示し、捨ててもらう。（1．言葉より視覚的情報で伝える） ・本人がしたことをやり直しさせるような指示ではなくできるだけ予告的な促しを心がける（10．できるだけ成功体験で伝える）
	・落ち着いて行動している	★理解して行動している	1．（★視覚に強い）7．（★同じは得意）10．（★継続は得意）	・終わった！			
	・全部一緒に入れようとしている	・分別がわからない	1．相手からの情報・メッセージ 6．空間整理統合の困難さ	・え？何？どうすればいいの？			
	・捨てる場所が示されると行動できる	★指示が具体的だとできる	1．相手からの情報・メッセージをキャッチする特性（★視覚に強い）	・ここに入れればいいんだね			
⑥自宅へ移動する	・落ち着いて歩いている（自分で歩いている）	★帰宅すると理解している	7．変化の対応（★同じは得意） 10．長期記憶（★継続は得意）	・食べたから帰るんだな！	・信号の理解ができない ・安全確認ができない	・帰りというような目的がはっきりしていれば落ち着いて歩くことができる	・ケアホームのカードを持ってもらって帰ることを知らせる（1．5．9．ことばより理解できる形態で、次の活動を予告し、記憶の維持を助ける） ・ヘルパーが車道側を歩く（本日のステップ）
	・車通りが激しくてもマイペース（車を気にしていない）	・安全確認は苦手	4．転導性・衝動性・強い注目、注意6．空間整理統合の困難さ	・うちだ！うちへ帰ろう！			